

第57号

令和元年6月25日発行

発行/宇 佐 市 議 会 直通:0978-32-2328 Fax:0978-32-1437





《議員一押しの写真》

糸口音頭は、昭和20年に、糸口出身の松山英俊さんが戦地から戻られた時に、自然豊かで平和な故郷を想い作詞したものです。当時は、GHQ統治下で、掲載されていた文芸誌は没収され、米国のプランゲ文庫に保管されていたものが、62年を経て平成21年に糸口に返還されたものです。今年は「糸口音頭保存会」ができて10周年になります。「平和を希求する詩(うた)を糸口の宝として保存しよう」と、多くの方のご努力で糸口音頭はよみがえりました。糸口小学校の「運動会」や「三世代の集い」、地域の「盆踊り」等で、多くの人が輪に入って踊るようになりました。今後も、たくさんの人に愛される糸口音頭になればと思っています。

3月定例会

○平成31年度一般会計・特別会計当初予算を可決

スマホも対応!

5月臨時会

次

○正副議長、各委員会委員が決定

議会ホームページ

http://www.city.usa.oita.jp/site/gikai

宇佐市議会

3月定例会・5月臨時会の審議結果······P.4~5

3月定例会の一般質問·····P.6~12

議会活性化特別委員会委員の紹介·····P.12

A 子会~新正副議長が決まる

議長に 副議長に 衛 藤博幸 河野康臣 氏 氏

て を開催しました。 発足し、 今回の選挙から定数を1人削減し 新たな23人の議員による議会が 5月10日、 選挙後初の議会

康臣氏の就任が決定しました。 藤博幸氏、 明美議員が臨時議長として会議を進 副議長選挙が行われ、 行して議長選挙が行われ、 本会議では、 次に、 最初に、年長の中村 衛藤議長の進行で 副議長に河野 議長に衛

員会 程され、 等の委員構成が決定した後、 全ての議案が承認・同意されました。 分の承認案3件、 また、 (総務・文教福祉・産業建設) 議会運営委員会や各常任委 質疑・討論・採決を行い 人事案件1件が上 専決処



議長 衛藤博幸



副議長 河野康臣

(宇佐・高田・

国東広域

事務組合議会議員

辛井

光 裕 議員を選挙しました

部事務組合議会の

身の引き締まる思いでございます。 栄に存じますとともに、改めて責任の重さを痛感し、 第8代議長・副議長に就任いたしました。身に余る光 このたび議員各位にご推挙いただき、宇佐市議会の

革の年」であり、 うな対策を講じ、持続可能な地域発展に取り組むのか でもあります。この大きな変革の中で、地方がどのよ 大変注目されております。 本年は、平成から令和へと元号も変わり、まさに「変 次の時代へスタートをきる節目の年

ます。 環境対策、教育や福祉の充実など多岐にわたっており 雇用対策はもとより、行財政改革、まちづくり対策、そのような中、宇佐市の取り組むべき課題も景気・

様の付託にお応えすべく、更なる努力をしてまいる所 ましても、議会において十分議論を尽くし、市民の皆 議員が決定いたしました。議員一同、二元代表制の一 存でございます。 重要な課題はもとより、市民生活の身近な課題につき 翼を担う議会の果たす責任や役割を再認識し、 私ども宇佐市議会も、この度の改選で23名の新たな 市政の

ろしくお願い申し上げます。 名が、議会に関する情報を的確かつ親しみやすい紙面 に編集してお伝えしてまいりますので、ご愛読の程よ 「うさ議会」だよりは、議会活性化特別委員会委員9

をお願い申し上げまして、就任のあいさつといたします。 市民の皆様の議会に対するご理解とご協力、ご鞭

> 衛浜高林 藤永橋 博義宜 幸機宏寛司明

、大分県後期高齢者医 広域連合議会議員》 Ш 谷 光 · 紹

療

任案に同意しまし 各種委員の任命・選 た

れた委員 3月議会で任命・選任さ

《教育委員会委員》 藤修 (院内町大門) 水 氏

《公平委員会委員》 渡 辺幹雄 (四日市 氏

委員 5月臨時会で選任された

、監査委員 井本裕明氏 (議会選出)》 任委員会で構成しています。

祉」「産業建設」という3つの

常

詳細な審査を図る機関として常任

的

かつ部門別に審査を分担

٢

議案等が多岐にわたるため、

専

常任委員会

委員会が設置されています

本市議会では

「総務」「文教福

委員、 議会活性化特別委員 が決まりました。 新たな議会運営委員会 議会運営委員会 常任委員会委員、 (会委

して設置されています。 に関する調査などを行う機関 するとともに、議長の諮問 1関する事項をあらかじめ協議 議会運営委員会は、 議事日程など、 議会の運営 議会の・ 事 項 会

各常任委員会の委員構成は、次のとおりです。 ◎は委員長、○は副委員長。氏名の下の()は年齢、写真下は会派名(小学校区)、写真は委員席順※5/10現在



令和新政会 (四日市南)



殺け (36)

高橋宜宏

(66)

(67)

河かかり 睦なっ 夫ぉ

(52)





(59)

今石靖代

(56)

永ながまっ

郁湯

(59)

赤野道和

(59)

市民れんごう (西馬城)



 \bigcirc \bigcirc

浜永義機

後藤竜也

辛島光司

永松

郁

河野康臣 大隈尚人

多田羅純

光りの会 (和間)





(47)

林やし

寛

(68)

 \bigcirc

川谷光紹

(43)

衛藤義弘

(62)

吉田泰秀

(45)

河野健治朗い

(45)



知新会 (安心院)



(70)



政友会 (安心院)





(68)

総 任委員会

至誠会 (宇佐)

求道会 (宇佐)





日本共産党

(糸口)







日本共産党 (深見)



新流会

(長峰)





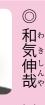
公明党 (四日市北)



桜和会 (北馬城)



市民れんごう(高家)



(48)

河野康臣

(66)

 \bigcirc

多田羅純一

(49)

後藤竜也

(43)



文 委祉



政友会 (南院内)

市民れんごう (院内北部)



(63)



明政会 (高家)

求道会

(長洲)







(70)

浜永義機

(69)





求道会 (長洲)



政友会 (駅館)



市民れんごう (糸口)



政友会 (柳ヶ浦)

産 任建 委設

4

平成31年3月第1回定例会議決結果一覧表

○議 案

番号	件名	付託委員会	結 果		
議第 1 号	平成30年度宇佐市一般会計補正予算(第6号)	各常任委員会	原案可決		
議第 2 号	平成30年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	文教福祉	″		
議第 3 号	平成30年度宇佐市介護保険特別会計補正予算(第3号)	"	//		
議第 4 号	平成30年度宇佐市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	産業建設	//		
議第 5 号	平成30年度宇佐市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	"	//		
議第 6 号	平成30年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	"	//		
議第 7 号	平成30年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	文教福祉	//		
議第 8 号	平成30年度宇佐市水道事業会計補正予算(第3号)	産業建設	"		
議第 9 号	平成31年度宇佐市一般会計予算	予算特別	//		
議第10号	平成31年度宇佐市国民健康保険特別会計予算	文教福祉	//		
議第11号	平成31年度宇佐市介護保険特別会計予算	"	//		
議第12号	平成31年度宇佐市農業集落排水事業特別会計予算	産業建設	//		
議第13号	平成31年度宇佐市公共下水道事業特別会計予算	"	//		
議第14号	平成31年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	"	//		
議第15号	平成31年度宇佐市後期高齢者医療特別会計予算	文教福祉	//		
議第16号	平成31年度宇佐市水道事業会計予算	産業建設	//		
議第17号	宇佐市手数料条例の一部改正について	//	//		
議第18号	宇佐市適応指導教室条例の一部改正について	文教福祉	//		
議第19号	宇佐市スポーツ施設条例の一部改正について	産業建設	//		
議第20号	宇佐市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正について	文教福祉	//		
議第21号	宇佐市における部落差別等を撤廃し人権を擁護する条例の一部改正について	総 務	//		
議第22号	宇佐市印鑑条例の一部改正について	"	//		
議第23号	新市建設計画の変更について	//	//		
議第24号	市有財産の無償譲渡について	"	//		
議第25号	損害賠償の額の決定について	産業建設	"		
議第26号	物品供給契約の締結について	総 務	//		
議第27号	物品供給契約の締結について	"	//		
議第28号	物品供給契約の締結について	"	//		
議第29号	宇佐市教育委員会委員の任命について	付託省略	原案同意		
議第30号	宇佐市公平委員会委員の選任について	"	"		

○請願

番号	号	件 名	付託委	員会	結 果
請願第7	号	「消費税増税 10% 引き上げ中止を求める意見書」を国へ提出を求める請願書	総	務	不採択

○議員提出議案

番	号	件名	付託委員会	結 果
議員排第	是出議案 1号	宇佐市議会委員会条例の一部改正について	付託省略	原案可決

○全会一致でなかった議案及び請願の採決結果

議案番号	川谷光紹	和気伸哉	多田羅純一	後藤竜也	衛藤義弘	河野康臣	井本裕明	辛島光司	今石靖代	中島孝行	新開洋一	林	用松律夫	大隈尚人	衛藤正明	高橋宜宏	中村明美	室 口 孝	永 松 郁	斉藤文博	浜永義機	衛藤博幸	佐田則昭
9	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	議
11	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	議長につき
15	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	き表決な
21	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	î
請 7	×	×	0	×	×	0	×	×	0	×	×	×	0	0	×	×	0	0	×	0	×	×	

賛成=○ 反対=×

3月定例会では、2月8日付で文教福祉常任委員会の中本 毅委員長が一身上の都合により辞職したため、2月19日に 文教福祉常任委員会を開催し副委員長の衛藤義弘議員が委員長に高橋宜宏議員が副委員長に選任されました。

令和元年5月第2回臨時会議決結果一覧表

番号	件名	付託委員会	結 果
議第31号	専決処分の承認を求めることについて (宇佐市税条例等の一部改正)	総務	原案承認
議第32号	専決処分の承認を求めることについて (宇佐市都市計画税条例の一部改正)	総務	原案承認
議第33号	専決処分の承認を求めることについて(宇佐市国民健康保険税条例の一部改正)	文教福祉	原案承認
議第34号	宇佐市監査委員の選任について	付託省略	原案同意

○全会一致でなかった議案及び請願の採決結果

議案番号	河野健治朗	吉田泰秀	赤野道和	若山雅敏	中本毅	川谷光紹	和気伸哉	多田羅純一	河野睦夫	後藤竜也	衛藤義弘	河野康臣	井本裕明	辛島光司	今石靖代	新開洋一	林	大隈尚人	高橋宜宏	中村明美	永松郁	浜永義機	衛藤博幸
33	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	議長

3日間で12名の議員が一般質問を行いました。各議員の一般質問は、紙面の関係上、 質問の一部を抜粋して掲載しています。

和気伸哉……P 6 多田羅純一…P7 衛藤義弘……P 7 河野康臣····P 8 今石靖代····P10 後藤竜也····P 8 斉藤文博 辛島光司····P 9 川谷光紹····P11 用松律夫····P12 高橋宜宏····P10 孝 · · · · P 11

→ 傍聴のご案内

定例会の通常日程は、「第1日目:議案の説明」、「第2~5日目:一般質問」、「第6日 目: 議案質疑と議案・請願の委員会付託」、その後「各委員会の審査」を経て、「第7日目: 各委員会の審査報告後、その報告に対する質疑、討論、採決」が行われます。

本会議の傍聴は、議会事務局で当日8時30分から受付け、傍聴席(66席)が空い ていれば、いつでも傍聴できます。

委員会の傍聴は、議会事務局で当日8時30分から受付け、委員長の許可により、傍 聴席(5席程度)が空いていれば、傍聴できます。

是非、傍聴席から、議員と執行部の真剣な議論のやりとりをご覧ください。

月頃までの1年間、

交差点中央

車

決断できる行政であれ

校長とPTA役員との間で、 り上げて、前回も「着用に向け したが、その後の進展状況は。 て協議を進めていく。」と答弁 県内市町村は、本市だけだと取 メット着用を義務付けていない の社会実験を行うとのこと。 2 に向けて共通理解を得られる 現在、各中学校において学 中学生の登校時に なので、 通じて、 うか等きめ細やかな対応が必要 物をどうするか、 利関係のほか、 耕作放棄地の問題解決案は。 農地が手付かずになっている。

発生要因や荒廃の状況、 耕作放棄地の再生・利用に

引き受け手・ 土地条件はど

集落との話し合いを密

人・農地プランなどを

や歩行者への影響、渋滞状況等 両のみ左側一方通行で車の流れ 部に仮設ブロックを設置し、

問 4

多くの自治区で荒廃した

成を行った後、10月から来年9 とだが、実施計画や実験内容は 年間社会実験を実施するとのこ の検討及び社会実験計画図の作 差点に設置し、本年10月より1 ウトを県は、安心院支所前の交 本年6月頃までに検証項目 環状交差点ラウンドアバ



和気伸哉 (USA 絆の会)

メット

の重要性を指導する等、

などが取得可能になる。デジタ 問3 交付促進に努めていく。 としてもその動向を注視すると 推進していくとしており、本市 ンバーカードの普及促進施策を ル社会に向けて今後の対応は。 住民票の写しや印鑑登録証明証 ともに、マイナンバーカー 本市も10月から、 コンビニでの ら原則すべての病院で、マイナ り組みも進めている。 生徒自身の安全意識が高まる取 て使えるようにすると発表した ンバーカードを健康保険証とし 国は今後、より一層マイナ 政府は2021年3月か

よう話 メット着用の意識づけや交通安 て し合 全校集会等の場でヘル 生徒に対してヘル いを行 学

移住政策の拡充を



減少、という結果であり、 と考えるが市の考えを伺う。 る所得要件撤廃等の関係経費を 充や奨学金返還支援制度におけ る」とあるが県下でも2年連続 会に子ども医療費助成制度の拡 2人減少、社会増減が129人 活動を推進していく必要がある 全市町村で減っている。 昨年と比べ、自然増減51 「将来人口5万人を維持す 施政方針について。 更なる

いて。 問② Uーターン移住支援につ 提案している。

治体の取り組みを参考に今後も 世帯98名となっており、 費用の助成はできないか。 平成30年2月15日現在で41 他の自

調査研究していく。

問④ ラウンドアバウト (ドー 育の無償化について。 ナツ型の交差点)について。 ら確保対策を考えていく。 も協議会と意見交換を行いなが 対策事業を実施しており、 独自事業として保育士等の確保 ように考えているのか。 人員確保の取り組みはどの 本市では県内他市には無い 目的と設置後の効果は。 未来の保育士不足を見据え 10月からの幼児教育・

(2)電時にも対応が可能である。 など交通状況の利便性が良くな の様に考えているか。 信号機が不要な為災害などの停 視覚障がい者への配慮はど 騒音やCOの削減が図られ、 交通事故の抑制と渋滞緩和

くなりますので安全対策が必要 ト検討委員会にて対応事例を調 であり、大分県ラウンドアバウ 点へ侵入しますが信号機が無い 査研究していく。 ため音響式信号機が設置されな 自動車は必ず減速して交差

※その他の質問

佐市へ戻ってくる際の引っ越し

現在の移住状況と若者が宇

・イノシシ駆除のICT化につ カメラ導入などの援助は いて・捕獲効率向上の為、 ご当地マンホールについて

問① 待事件では、いじめアンケー 待防止対策について。 が書ける様式か。書いている場 が行われているが、メッセージ 書かれていた。宇佐市でも調査 に重要なメッセージとSOSが 千葉県野田市の小4児童虐 児童・生徒のいじめ、

虐

交通弱者の足の確保の整備を図

足の確保対策 虐待防止対策、

じめ ② いじめ・虐待の話し合いの 述があった場合は、全員に面談 校長のリーダーシップの下、 合の対応はどうか。 会議は、総合教育会議で行うの 目由に書けるようになっている。 答 学校ごとの形となっており、 解消に向け組織的に対応。

記

行う時期にきているのでは。

障害者の足の確保で実証実験を

答 野田市の事件について触れ、 必要ではないか。 らない。防止推進条例の発動が SOSを発信しているのか分か か。また、どこで、どの場所で

衛藤義弘 (公明党) 取っていきたい。 警察などと相談を図っている。 情報共有に努め、児童相談所や 活用した相談窓口の設置を。 をとっているSNSのラインを ネットワークの連携を密に 市長の施政方針演説の中に 若者がコミュニケーション 足の確保対策について。

光にも役立っている。高齢者や るとある。対策の具体策は。 便が深刻。使用者ニーズに合わ んでいる。地域の足の確保や観 の電動ゴルフカートの普及が進 公道を走る4人乗り、7人乗り ② グリーンスローモビリティ た持続可能な制度を検討中。 せダイヤ改正など、地域に合 答 近年、路線バスの撤退や減 、電動で動く、 時速20㎞未満で

※その他の質問 必要である。 が上がるかどうか。 体である。地域の人がすれば声 市にもきている。課題は運営自 国交省から利用の促進など 更に研究が

・「中小企業への制度の周知に 「教育環境の向上と教育支援」

協議した。協議会を毎年開催し、

市政 一般に対する質問

教育問題等につ いて



河野康臣 (市民連合)

決意は。 問① ター建設に向けての、 ごみ問題、クリーンセン 施政方針について。 宇佐市の

ごみ処理のためのコンポスト けて努力している。 理者会議で早期の合意形成に向 購入補助などを中心に予算化し いては、広域事務組合の正副管 ている。クリーンセンターにつ 資源ごみのリサイクル、

(2)

高齢化と交通政策の充実は

問2 いて、市民への広報等に努める。 答 災害廃棄物処理計画に基づ 害時のゴミ焼却問題は。 南海トラフ地震等の非常災 教職員の超過勤務につい

は、 は8分で横ばい状態。中学校で 日平均58分、平日は78分、 昨年に比べ、小学校では 最新の実態調査の結果は。 一日平均96分、平日は11

平日は10分の増加、 7 分、 超過勤務の実態は。 (2)ターでは一日平均9分、平日11 の減少となっている。支援セン 始業前の超過勤務はない。 フッ化物洗口実施における 休日3分となっている。 休日は39分となっており、 休日は39分

かっていた。 洗口の準備時間に、 10分程度か

問3 について。 周辺地域の交通網の整備

天津、八幡、高家、麻生等)の ての認識は。 買い物、通院、役所通いについ 周辺地域(安心院、 院内

見も認識している。 運行便数や発着時刻など、地域 地域には、コミュニティバスを 周辺地域で路線バスが撤退した ニーズに合っていないなどの意 運行している。しかしながら、 (1)、(2)は一括して答弁する。

増便、ダイヤ改正など、 確保の問題など、抜本的な公共 能な交通制度を構築できるよう いながら、コミュニティバスの 交通の見直しが必要となってい 近年の利用者の減少、運転手 地域の交通ニーズ調査を行 持続可

等に関 ラ

(政友会)

都市計画、子育て、社会イ ンフ 1

後藤竜也

た、用途区域の拡大は困難との の見直しを考えているのか。 に変更されていないが、いつ頃 の区域入替は出来ないか。 ことであるが、現状を踏まえて 用途区域は平成8年を最後 都市計画について。

ま

祝金を交付している自治体は少

要があると感じている。また、 まちの形成が進む中、 入れ替えを含め調査研究してい 用途地域の見直しについても、 全の方針など、今後、 拡大による低密度で、 市構造に於ける整備、 加速する人口減少と市街地 見直す必 開発、 将来の都 非効率な

中で、どのように事業を進めて 用途区域にも指定されていない かあるが、農振も外れておらず、 賑わいの場の創出」との記載 柳ヶ浦駅南側の構想として 都市計画マスタープランで

いくのか。

ら今後の方向性を示していきた かっており、 現在、 「柳ヶ浦上拝田線」「黒川松 整備の進捗状況を見なが 駅北口の整備に取り 駅南側について

問2 うか。 い切って大幅に引き上げてはど いるが、第3子以降の祝金を思 県下でも出産及び入学時 出産祝金事業が実施されて 子育てについて。

引き上げることは考えていない。 ないことから、現時点で大幅に いる。今後も関係機関と緊密に 48時間以内に安否確認を行って は緊急受理会議を開催し、協議 件数は90件となっており、 案の件数と対応は。 した上で児童相談所へ通告し、 傾向にある。相談があった場合 市内での虐待に関する相談 市内での虐待が疑われる事 増加

※その他の質問

連携をとっていく。

下水道の耐震構造、耐用年数 水道管の老朽化と更新率 水道民営化法案の影響

長洲公民館の早期建て替え

更なるごみの減量に向けて



(市民連合)

問① サイクル可能な種類は。 市で焼却しているごみの中でリ ごみの減量対策で、 宇佐

点回収を実施し、減量とリサイ れる古布類、古紙を試験的に拠 験的に燃やせるごみに多く含ま 類等がある。平成31年度より試 布類・紙・ビニール・合成樹脂

改正漁業法が公布され2年以内 終年度を実施している。 3年再生計画」第3期計画の最 経営は非常に厳しい状況が続い ている。本年は「宇佐管内漁業 漁船燃油や資材の高騰など漁業 ように行われているのか。 漁業従事者との意見交換はどの 漁獲量の減少だけでなく、 昨年末、

クル推進を図っていく。 リサイクル可能な種類

問② 漁業漁獲量の激減は深刻

興を図るため、 に施行される。今後の水産業振 次期計画策定に 問 ⑤ 団幹部と協議していく。

協議を進めている。 むけて漁業従事者や関係機関と

成果は出ているのか。 農業新規就農支援事業の

と認識している。 事業で一定の成果が現れている 業参入企業の雇用も25名以上に 業では、水稲や小ねぎ、ぶどう 達している。国、県、市の支援 で16組22名に支援している。 あげている。次世代人材投資事 質な農産物を生産し安定収益を ぶどう2組4名が就農し、高品 就農学校では、小ねぎ4組5名 5番目の実績数値となっている よると宇佐市は93名で県下では 過去5年間、県のまとめに

はどのようなことか。 問(4) 地域防災計画全面改訂と

門事業者の支援を得ながら全面 頻発している状況を考慮し、 会議において協議していく。 訂案を取りまとめ、宇佐市防災 的な改訂が必要と考えている。 市が抱える課題整理を行い、 合性、近年の災害の検証を基に、 国や県の計画や関係法令との整 近年、全国で大規模災害が 専

載車の導入計画は。 地域の実情を考慮し、 機動性のある小型消防積

> 救急車の運用改善 1

> > 周辺対策について。

答 就業・結婚等の社会的要因 に住む現状と理由を把握してい 周辺部の若者が市内中心部

は、子育て世代にとって、 が影響していると考える 議論が必要ではないか。 捉え、自治区と解決に向けての て、それらにまつわる出不足金 の確保が厳しいのが現状。 このような根本的な理由を 経済的にも大きな負担とな 田舎の祭りや行事・ 時間 まし

問2 は約3000件。救急車の台数 ていく。 ティ組織等で、 答 今後とも、 火災時の救急車出動を慎重に行 を物理的に増やせないのなら、 29年の救急車の出動回数 生の意見を聞い 地域コミュニ

うなど、運用面での取り組み改



(USA 絆の会)

を図っていく。

の救急体制を運用面からも改善

辛島光司

問③ よりも川の河口付近には

の浚渫を県に求めるべきではな ヘドロが堆積している。ヘドロ

問4 ではないか。 ゲット層に対し、戦略的に誘客 行い、ビッグデータ(来客数等) ている。県に求めていく。 いか。 を狙う策を考える必要があるの だけではなく、消費を伴うター いて、実態調査に基づき分析を 堆積している現状は把握し インバウンドの実態につ

るが、 問 銀行だけとなっている。他行の を考えていきたい。 営委員会に諮りながら、 保護者の方の選択制にしては。 口座からも引落しを可能にして 引落し口座としては、ゆうちょ 有効な観光誘客施策を模索する。 い。今後は要望があれば、 他行は、 詳細な調査には経費がかか 給食費の引落しについて 可能な調査を行い、より 振替手数料が少し

善を常に考える必要があるので

出動に対し、市民の命を守る為 はないか。 今後も増えるであろう救急

高齢者の食事支援を



討している。 行い、コミュニティバスの増便 ヤ改正など、地域に合った持続 や利用者ニーズに合わせたダイ 大きく増やし拡充すべきだが。 '能な制度を構築できるよう検 現在、地域のニーズ調査を 市民のニーズに応え予算を 公共交通について。

答 設置が容易な場所で、 ンチや屋根の設置を進めるべき 利用の多いバス停から、ベ かつ

要望がある場所について適宜対

応していきたい。

ビスのニーズが高まっている。 問②高齢者の食事支援を。 公的な支援を拡充すべきだが。 100円の自己負担で提供して る。その他、民間7事業者が 高齢化が進む中、配食サー 院内・安心院では1食

していない。今後、調査したい。 提供しているが市からの支援は ふれあいサロンなど補助の

(日本共産党)

問4 を定めるべきだがどうか。 2万円から5万円に増額する。 府市のように「障害者基本条例 権利の確保のため、大分県や別 世帯の軽減を検討すべきでだが また、子育て支援のために多子 念に沿って、豊後高田市のよう に給食費を無償とすべきだが 開設4年目以降の補助金を 国に対して要望している。 義務教育は無償とする理 障害者の暮らしの向上や

今石靖代

民への周知を図るとともに県条 た手話体験教室等の事業に取り 例に沿った施策づくりに努めて 組み始めた。 いる。今年度は親子を対象とし 県条例の制定に関わり、

問 5 今後も調査研究していきたい。 果や課題について研修を行った。 るか。検討の進捗状況は。 ている。必要性をどう考えてい 地域再生にもつながると言われ 保、さらに地域経済の活性化、 けでなく公共サービスの質の確 賃金・労働条件の改善、それだ 福岡県直方市を視察し、 公契約条例は、労働者の



営住宅事業の 今後は 問2 問① 年以内に法廷耐用年限を超える 38%。また法定耐用年限を超え 空家数は630戸、空家率は 市営住宅は195戸ほどある。 た市営住宅は603戸あり、 答 本年1月末時点の市営住宅 の全管理戸数は1648戸で、 市営住宅はどれくらいあるのか 家率は。また耐用年限を迎えた 市営住宅事業の今後の方 市営住宅の全戸数と空き

今後、 を計画している。老朽化の著し 宅団地の集約化等による統廃合 数を1000戸程度としている。 化計画」で、市営住宅の適正戸 このため、「市公営住宅長寿命 口1人当たりの戸数は多い状況。 市営住宅など477戸を政策 県下他市町村に比較して人 適正戸数となるよう、 住

> 移転費用についても17万6千円 者へ住替えの依頼をしており、 するなどの措置を取っている。 を進めていく。 宅については、 住替えが行われ空家となった住 を限度に市が全額補助している。 この政策空家については、入居 順次、解体撤去

件。 けていただいている。保証人な るのか。また過去に保証人がな 問③ 国交省は18年3月、保証 かし、どうしてもいない場合は 宇佐市は現在保証人を求めてい 人1人で認めているのが119 しで認めているのが41件。 めるよう自治体に通知したが、 人が見つからなくても入居を認 |連帯保証人免除申請書| を付 入居を辞退した例は。 連帯保証人は通常2名。

5

計6件ある。 放置遺品が公営住宅をふさいで た問題はないのか。 問④ 単身高齢者が増え、死後 いると聞くが、宇佐市はこうし 平成18年から27年まで、 合

問 5 き。宇佐市からも強く要望して 実態に沿った統一見解を示すべ はどうか。 根本的な解決策を、国が

空家に指定し、新規入居を停止

県を通じ要望していきたい。

問2

市民・住民との協働の取

不足を補完して行きたい。

を伺う。

(材不足が危惧されている対策 **、組みについて、自然災害等、**

急激な人口減少 早急な周辺対策を

取り組むとともに子育て世代の 家活用と、地域と連携した環境 れを創出する施策を展開し、 体策として、周辺部への人の流 取り組み安心院・院内地域の具 経済的支援の拡充、雇用確保に れる。移住定住促進に引き続き 構造から当面減少が続くと思わ る。早急な対策が求められるが、 の集落の維持、限界が危惧され 進んでおり、今後5年~10年先 想を超え、人口減少と少子化が 整備活動を支援し、 答 自然増減については、 歯止めが出来るのか伺う。 地方を取り巻く環境は予 地域の活力 人口

筌口 孝 (市民連合) 問3 対策を伺う。 み出す施策が喫緊と思われる。 ジョンと、周辺地域の活力を生 や担い手育成、情報共有に努める。 議会を開催し、住民の意識醸成 隊員を派遣し、定期的に連絡協 力の維持・強化を図るため協力 不足が課題とされている。 するなかでも組織を支える人材 年間に向けた新たな計画を策定 いながら、さらにこれからの 新時代に向けた新たなビ 地域

問④ 安心院支所複合庁舎完成 るために、健全財政の枠組みの と地域振興を伺う。 中で各種施策を行っていきたい 可能な魅力ある宇佐市を創造す 続中の事業や施策を含め、 ん・ワインのモニュメント設置 域の広告塔として鏝絵・すっぽ 型交差点)について、安心院地 とラウンドアバウト ある発展を揚げており、現在、 周辺地域を含む地域の均衡 (円形環状

として選定され、 われる。今後、先進事例等調査 待されている。県下初の交差点 環状交差点として本格整備が期 平成25年の道交法の改正 実証実験が行



ユニティ組織の活動支援を行っ

計画の検証・評価を行

問① 国営事業調査「かんがい排 地域のために。

駅館川地区が概算決定した

ジョンによる農業の発展に大き ている。ほ場の大区画化や水田 朽化により、整備後40年が経過 く寄与するものと考える。 畑地化など、駅館川地域農業ビ し農業用水の確保が課題になっ 幹線水路などが整備された。 にかけて、日出生ダムをはじめ 宇佐の農業の未来は、 昭和39年度から昭和54年度 老

を拡大しては。

(3) ているとのこと。都市計画道路 緊急車両の到着に時間がかかっ た健全な運営に努めていく。 営破たんしてしまう。法に従 権の譲渡は考えていない。しか 現状のままだと約20年で経 国道10号線の渋滞により、

> 地域の方々が参加しては。 される。公共交通計画策定に、 度中には用地買収を完了したい。 内示率が低かったが、 地開発公社を活用し、平成33年 予算がついた。今後、 上田四日市線の早期完成を。 今まで要望額に対する国の 秋に複数のバス路線が廃止 宇佐市土 国の補正

問②子どもたちのために。 かで、 援を受けている。貧困の連鎖を な対応、こどもの貧困対策とし いていく必要を感じている。 断ち切るために、 佐市の小学生の約30%が就学支 役割は大きいのではないか。宇 て放課後児童クラブの果たせる 児童虐待の早期発見と適切 公共交通が立ち行かないな 地域からの声を個別に 利用料の減免 聞

もが安心して暮らすために

調査研究していく。 業を行っているので、 ての役割を期待しているが、県 クラブにセーフティネットとし 利用者は、約17%の状態。児童 の事業を活用して利用料減免事 利用料の減免を受けている

民間事業者への安易な経営 改正水道法による影響は。

※その他の質問

より安全な四日市商店街に。 自治体の広域連携について。 ヘルメットの着装について。

研究を進めて行く。

一般に対する質問

高すぎる国保の負担軽減を



(日本共産党) 用松律夫

る。他市のような均等割の軽減 番目に低い。 国保税の引き下げ 得は姫島村、別府市に次いで3 宇佐市の国保世帯の課税所 均等割は世帯の人数にかか 減免制度の拡充を。 国保税について。

単独での実施は困難だ。 県単位の広域化により、 市

問② 介護保険制度について まで引き上げよ。 免の対象が所得段階1のみは宇 佐市含め2市だ。他市並みに3 減免制度を実施しているが、減 県下で6市が介護保険料の

きるよう助成を。 (2)消費税が、引き上げられれ 減免対象が拡大される。 低所得者でも施設入所がで

食費など支援制度がある。 ごみ処理施設について。

計画通り進める。

る。 巨額の建設費の問題で、納得が 基づき、宇佐市単独での建設を いかなければ離脱の意向を表明 している。一般廃棄物処理法に 県の許可の元、広域で進め 豊後高田市長は1者入札や

は。 (2) 人口減の中、 市の施設規模

のいいなりではないか。 民負担も軽減されるのに、 (3) 化大型化に固執するのか、 規模も価格も抑えられ、 56·6 t / 日となる。 広域 市

器の無償貸与、段ボールコンポ ストの無償配布を行う。 点回収、コンポスト・ボカシ容 今後は、古布・古紙類の拠 求めてきた減量推進策は。 広域の事で答弁を控える。

問(5) 問4 行政の廃止を。 同和行政や地区学習は必要 いじめや虐待の実態は。 差別解消に逆行する同和

問 戦闘機の購入・展示の中止を。 の規模や1億数千万円の模型の 否確認を行い、関係機関と協議 虐待については24時間以内に安 いじめは487件、虐待は 平和ミュージアム(仮称) 対策を講じている。特に

ら選出された次の9名です。 る定例会ごとに発行していきます。 な役割を持っています。わかりやす と議会に興味を持ってもらうため、 だより」を編集します。 議員の立場から議会報告を行う重要 内容を心掛けて、年4回開催され 構成メンバーは、 議会だよりは、 今号から新しいメンバー 市民の皆様にもっ 各常任委員会か で 「議会

今中赤若川 本野山谷 道雅光 代毅和敏紹 吉田泰秀 河河 野睦夫

 \bigcirc

石 ◎は委員長、 靖 ○は副委員長



編

じます。 気もちを新たにされていることと存 ました。皆様方におかれましても、 全国各地がお祝いのムードに包まれ 平成から令和へと元号が代わ

進してまいります。 ますように、今後とも委員一同、 よって皆さまへと届けることができ 急激に変化していく社会情勢のなか たな4年間の任期がスタートしまし く入れ替わりました。今まで以上に 議会活性化特別委員会の委員も大き た。併せて「うさ議会」を編集する、 宇佐市議会も議員が入れ替わり、 さて、今春の統一地方選において、 宇佐市議会での議論を本紙 に

をかけたところ、「俺がおらんとみ ずっと基礎の部分をしていた子ども とともに子どもたちが育っていく姿 運動会・体育祭では、子どもたちの てきました。 んなができん。」という言葉が返 に、「ずっと下で頑張ったね。」と声 がみられました。組体操のなかで、 生懸命な取り組みや、地域の方々 また、春に開催される小中学校

しかし、一人ひとり誰が欠けても今 できるように願ってやみません。 そして誰もが安心して暮らすことの 強く宇佐市が発展していくように、 民間企業・市民活動の四輪駆動で力 の宇佐市はありません。行政・議会・ が主役になるわけではありません。 字佐市という社会のなかで、

川谷光紹